

ダグラス・ウォーカー先生講演会 —災害時の心理的ケアについて—

日時 ▶ 平成28年2月17日(水)

会場 ▶ 弘前大学医学部基礎棟 基礎第2講義室(B1階)

【午前の部】

9:30—12:00

一般講演
「コミュニティへの介入」

【午後の部】

13:30—15:30

医師・心理士・医学/心理学部生向け
「TF-CBT介入例」

講師 ▶ Dr. Douglas Walker ダグラス・ウォーカー先生（臨床心理士）



ノース・テキサス大学にて健康心理学の博士課程を修了後、ニューオーリンズの子ども病院小児心理学コースで博士研究員として勤務。現在はMercy Family Center（マーシーファミリーセンター）のプログラム開発部チーフディレクターとして勤務し、ニューオーリンズ全体のメンタルヘルスを向上させるプログラムを開発している。特に、全米で2500人以上の死者・行方不明者を出したハリケーン・カトリーナにより大きな水害被害の出たニューオーリンズにおいて、学校支援をはじめとしたコミュニティ全体のトラウマケアに取り組み実績をあげた。PTSDやメンタルヘルス支援等に関する研究論文多数。また、テレビ・ラジオ等幅広く活躍している。

TF-CBTとは ▶ ※午後の部

TF-CBT (Trauma-Focused Cognitive Behavioral Therapy) とは、トラウマに焦点化した認知行動療法のことで、事件や事故・虐待・災害などの体験による著しいストレスにより、心的外傷「トラウマ」を受けた子どものための心理療法。心理教育や、感情表現・調節、認知の修正などの体験を通して、自尊感情や自己コントロール力の回復を目指すもので、欧米では、子どものPTSD症状、うつ症状、不安症状、問題行動等に最も有効性が実証されている。

申込み ▶ 午前の部の申込みは不要です。
午後の部に参加を希望される方は、
名前・所属を記入の上、メールかFAXにてお申し込みください。

⇒午後の部 申込み先: hiro-kokoro@hirosaki-u.ac.jp FAX: 0172-39-5545